

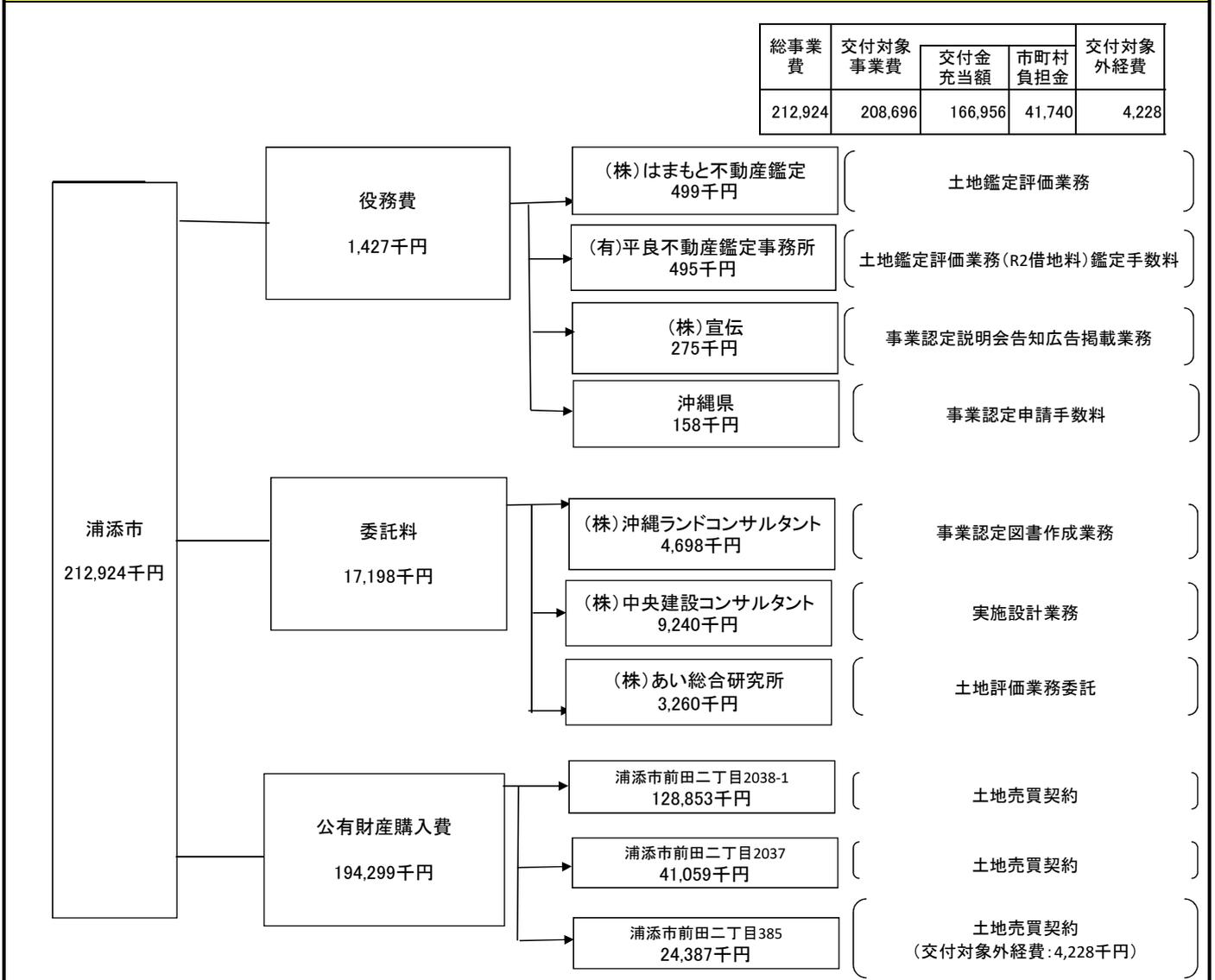
市町村名	浦添市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	市民部 経済観光局 観光振興課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を行う。令和元年度は、広場部分の実施設計並びに用地取得を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	38,000	16,000	220,665	-	
		(b)予算現額	38,000	14,936	216,576	-	
		(c)増減額(b-a)	0	▲1,064	▲4,089	-	0
		(d)繰越額	0	0	0	211,878	
	A.計(b+d)	38,000	14,936	216,576	211,878	0	
	B.執行済額	36,052	14,461	4,698	203,998		
	うち交付金充当額	28,842	11,568	3,758	163,198		
	次年度繰越額	0	0	211,878	-		
	執行率(%) (B/A)	94.9%	96.8%	0	96.3%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	整備手法の再検討を行うため、スケジュールが流動的になり、PPP事業に係る募集要項等策定及び参入事業者の選定支援業務について取り下げ、委託料の減額を行った。用地取得に関して、その前段となる土地収用法上の事業認定について、事業認定庁との協議・調整に不測の日数を要したため、令和2年度に繰り越した。広場部分の実施設計についても、用地取得状況に合わせて着手する必要があったため、令和2年度に繰り越した。また、用地取得や区画整理事業に変更が生じたため、事業費全体が変更となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・広場部分の実施設計の実施	目標	( )	( 実施 )	( )	( )	
		実績		実施			
	・用地取得	目標	( )	( 取得 )	( )	( )	
実績			取得				
達成状況説明	広場の実施設計について、業務委託により実施した。広場部分の用地取得については、土地収用法上の事業認定を受けるための図書作成業務を委託し、事業認定後、用地を取得した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	・広場部分の実施設計の完了 ・用地取得完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R4成果目標】 年間施設利用者数	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	(10万人以上)
		実績		完了			
進捗状況説明	・広場部分の実施設計を完了し、広場部分に係る事業用地の取得を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業に係る用地取得・実施設計が遅れた影響で、土地区画整理事業全体に遅れが生じている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響が、施設部分の事業者選定や開業に影響を及ぼす可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業のみならず、施設部分も含めた土地区画整理事業全体で効率的に事業を実施する。</li> <li>施設部分に関しては、民間事業者との連携により事業を実施するため、公募を実施する際には、社会情勢や広場部分の整備状況を踏まえ、民間事業者との対話を行いながら取り組む必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・本市の観光拠点として効果を発揮できるよう、事業実施のスケジュールや機能について、広場と施設で連携して開業に向けて整備に取り組む。  
 ・民間事業者の意見を踏まえた公募を実施できるよう、公募実施前にサウンディングを行い、事業者の選定を行う。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 用 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の3.7%であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	